

平成22年3月19日付

# 正しく薬を使って

赤磐で県薬剤師会東備支部

## クイズ交えて方法紹介

備前、赤磐市、和気町の薬剤師らでつくる県薬剤師会東備支部（瀬崎明文支部長）は18日、地域住民に薬の正しい使い方を紹介す

る「おくすり教室」を、赤磐市下市の市立中央公民館で開いた。



一般向けに薬の正しい使い方などを紹介した「おくすり教室」

約20人が参加。おおよま薬局山陽店（同市山陽）の店長で薬剤師

古野勝彦さん(34)が講師となり、病院でもらった処方せんの有効期限をはじめ、①後発医薬品（ジェネリック医薬品）の値段と安全性②お薬手帳の上手な活用方法③薬の正しい飲み方、使い方についてクイズを交えながら分かりやすく紹介した。参加者からは「新薬とジェネリック医薬品はどうして区別したらよいのか」「薬はお茶と一緒に飲んでもよいのか」など関心が高いテーマだけに活発な質問が出ていた。

同市桜が丘東、本吉

貞満さん(69)は「薬について参考になることが多く、薬剤師さんが身近に感じた」と話していた。

（今井康人）